

授業改善等に関する報告書（2023 年前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

【2023（前期）生活環境学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
アパレルデザイン基礎	滝澤 愛	授業名は「アパレルデザイン基礎」であるが、実際のシラバスでの授業内容は、被服構成学であり、人体構造や計測、パターン設計など、デザインではなく、被服構成に特化した専門的な分野の学びの基盤となる基礎的内容である。アパレル分野を学ぶ学生にとっては入学初年度に学び、しっかり習得すべき基礎の部分である。「あなたのこの授業における週あたりの予習復習時間はどれくらいでしたか」が全体平均の1時間以上を下回り、0.97時間であるのは、忌々しきことで、アパレル分野に進む学生は、理解できなかった内容に関しては、しっかり復習をしたうえで知識を定着させる主体的な学びを望む。
アパレルデザイン基礎実験	滝澤 愛	本校に着任して初めての授業で、学生のレベル等がわからないままではあったが、1年前期として必要な基礎知識と技術力の養成に注力して半期指導を行った。 「授業の内容と方法について」を問う設問の結果は全体平均よりやや低いもので、学生が授業内容に対し難しさを感じていたことが伺える。一方で、「全体について」の結果についてみると、「この授業を通じて、自身の成長が実感できたか？」が、4.50、「この科目をさらに学びたいと思ったか？」は4.23、「総合的に判断して子の授業に満足したか？」4.45、「あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか？」4.59と、全体平均より高く、大学生としてしっかりと主体性を持って学び、習得したことが伺える。来年度以降も改善を図りながら学生の知識と技術を大きく伸ばす内容にしていきたい。
インテリアコーディネート演習	山口 照也	まず、課題Ⅱの結果についてコメントします。 担当教師としての純粋な評価は全員がAに近いB評価でしたが、皆さんそれぞれの個性が出ている作品で今後の可能性を感じました。詳しくは掲示板に掲載した「山口の講評」の中のコメントの通りです。全員、良かった点と良くなかった点があったので、今後の参考にしてください。 課題Ⅱの対象は、集合住宅の1住戸とは言え、住まい全体を計画し全部をコーディネートするのは初めての経験で、大変だったと思いますが、コーディネーターになってもならなくても役に立つと思います。お疲れ様でした。 アンケート結果については、次のようにコメントします。 ①「成長の実感記述」に3点、「自由記述」に2点のコメントがありました。全て好評価の内容でした。就活との両立が難しい時期の授業でしたが、この経験も残りの学生生活と卒業後に役立つはずなので頑張ってください。 ②アンケート各項目では、「欠席回数」と「成績自己評価」以外はほとんど当該区分平均や全体平均より高い数値で、望ましい結果に近かったようです。 ③皆さん全員が授業にキチンと取り組んだ結果であり、アンケート回答率も100%だったので、このアンケート結果には信憑性があると思います。
インテリアデザイン演習	山口 照也	まず、課題Ⅱの結果についてコメントします。 担当教師としての純粋なA評価以上は6名（17%）でしたが、皆さんの学生評価も加味したA評価以上は14名（39%）です。D評価はいみじくもありませんでしたが、未提出者（失格）が1名いました。昨年よりA評価取得率が高くなっていました。毎年、設計製図課題との両立が大変なのですが、問題点を見つけ、改善できる計画案を考え、図面と模型で表現し、自分の口でプレゼンテーションを行ったことの経験はこれから役立つはずで、 毎年、皆さんの提出図面を細かくチェックし、良くない部分だけでなく、良い部分も見つけ出すべく努め、「山口の講評」としてまとめるようにしています。「学生評価まとめ」と共に、皆さんの作品に対する様々な意見や感想が述べられているので、今後の参考にしてください。 アンケート結果については、次のようにコメントします。 ①「成長の実感記述」に16人から、「自由記述」に5人からコメントがありました。すべて好評価の内容でした。 ②アンケート各項目では、「欠席回数」「成長実感度」「自己採点」「意欲的取組み度」が当該区分平均や全体平均より悪い数値で、特に「欠席回数」は昨年度より多く、「予習復習時間」も昨年度より少なくなっているのが問題点のようです。 「理解度」「双方向授業」「さらに学びたい度」は、当該区分平均や全体平均より良い数値で、且つ昨年度より良い数値だったことが良かった点です。
テキスタイル管理学	塩原 みゆき	配布資料については、テキスト代わりにするように作成し、出来るだけわかりやすく作っているつもりであるが、それでも、事前学習をしていない学生にとっては理解できにくいところもあるようである。さらに、改正していきたい。
テキスタイル管理実験	塩原 みゆき	授業内容については、ほぼ理解できているものの、理解できずレポート提出が遅れた学生もいて、すべての学生に十分に理解させるのは、かなり難しいことも分かった。実験についての説明方法などは、理解されていたが、さらに丁寧な個別指導も必要であると思う。
テキスタイル材料実験	加藤木 秀章	今後の社会において、テキスタイルの重要性がみられています。身近な製品もテキスタイルが使用されています。

【2023（前期）生活環境学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
デザイン基礎演習 a	安齋 利典	<p>授業を受けていただきありがとうございます。 大問Ⅱでは他の科目と比べてやや不評なので、内容・説明等にもう少し工夫が必要と考える。また、予習復習時間が平均1.11hと少なかったため、課題を増やす必要を感じた。 大問Ⅲでは、他の科目と比べてやや好評であったので、身につけて満足感のある授業であったと考える。 Q1.12の「具体的に成長を実感したこと」に対して、 ・図形の仕組みや描き方がわかった ・絵心がなくても、パースを理解して立体的なスケッチを描く力が身についた。 等、狙い通りの成果があったものと思う。 Q1.19の「自由記述欄」に、 ・ペースをみながら進めてくださるので、しっかりと技術を覚えることができました。 という好意的な意見が多かった反面、 ・パワポの文字が少し小さいです。 という意見が1件ありました。文字が小さいと思ったら前の方の席に座ってください。</p>
デザイン基礎演習 a	安齋 利典	<p>授業を受けていただきありがとうございます。 大問Ⅲの「13. この科目（系・分野）をさらに学びたいと思いましたか？」が他の科目の平均を上回っている以外、大問Ⅱ、Ⅲとも他の科目の平均を下回っており、説明の仕方やPPT等、改善の余地があると感じた。 また、予習復習時間が平均1.06hと少なかったため、課題を増やす必要を感じた。 Q1.12の「具体的に成長を実感したこと」に対して、 ・論理的に考える力が身についた。 ・スケッチの能力がついた。 等、狙い通りの成果があったものと思う。 Q1.19の「自由記述欄」に、 ・色（マーカー）を使った陰影の付け方をもう少しやりたかった。 ・角Rをもっと上手く描けるようになりたかった。 という意欲的な意見があり嬉しく思いました。</p>
ファッションデザイン論	滝澤 愛	<p>本授業は、他大学でも10数年に亘って、毎年ブラッシュアップしながら行ってきた科目で、この前期も他大学で全く同内容を行ってきた。他大学（今年度も2年前期実施）の高いアンケート結果と比べ、本学の結果の数字が低いのは1年前期という、高校卒業したての学生にはやや専門的な内容であったためであろう。ただし内容のレベルを落とすことはできず、来年度はシラバス等で専門的であることを謳うなど、学生に対する授業内容のレベルの周知を図っていきたい。</p>
ファッションビジネス演習	大川 知子	<p>3ヶ月半の授業、お疲れ様でした。受講生の内、約4割の方からの回答ということで、これでこの授業の全体の評価とは言えないと思いますが、それでも「成長が実感できた」「意欲的に取り組んだ」に、全員が「とてもよく当てはまる」と記入していただいたので、安心しました。引き続き、良い学びを続けて下さい。</p>
ファッションビジネス論	大川 知子	<p>3ヶ月半の授業、お疲れ様でした。受講生の内、約8割の方から回答をいただき、嬉しく思います。中でも、「成長が実感できた」「更に学んでみたい」という項目について、全員の方たちが「とてもよく当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答いただき、良かったです。また、コメント欄からは、「店舗や商品の見方が変わった」「店舗やECについて、新しい用語など、学びを深められた」等の声もいただきました。今回学んだことを、日常生活も含めて、是非、活用して下さい。</p>
プロダクトアムニティ演習	不破 輝彦	<p>2023年度はアンケート回答を口頭、およびmanabaで呼びかけたため、回答率100%でした。自由記述からは、（工学系の）レポート作成力が身に付いた、という声が目立っていました。これこそが本科目のねらいの一つです。今後の実験・演習や卒業研究に活かしていただきたいと思います。</p>
プロダクトデザイン論	安齋 利典	<p>授業を受けていただきありがとうございます。 大問Ⅲの「13. この科目（系・分野）をさらに学びたいと思いましたか？」が他の科目の平均を上回っている以外、大問Ⅱ、Ⅲとも他の科目の平均を下回っており、説明の仕方やPPT等、改善の余地があると感じた。 特に「10. 担当教員の声や言葉は、聞き取りやすかったですか？」が大幅に下回っており、情報量が多く足早な説明になったためかと考えている。 また、予習復習時間が平均0.78hと少なかったが、これは自主的に予習復習するようにしたためであり、次回（2026年度2年次）は毎回授業内容をまとめる課題を出すようにする。 Q1.12の「具体的に成長を実感したこと」に対して、 ・プロダクトをデザインする上で重要なことや、プロダクトの種類についての理解が深まった。 ・プロダクトデザインについての理解が深まった。 等、狙い通りの成果があったものと思う。 Q1.19の「自由記述欄」に、 ・授業内容が教科書に沿ってされていたのでわかりやすかった。 また、PowerPointに重要な点は色が変わってあったり、写真が多く使われていたりしてわかりやすくて良かった。 という好意的な意見があった反面、 ・PPTの文字が小さい、が2件 ・マイクを使っても聞き取りにくい、が4件ありました。 PPTが見えにくい場合は前の方に座ってください。 マイクの音量については設備の方に確認します。</p>

【2023（前期）生活環境学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
ユニバーサルデザイン論	佐藤 健	来季は、もっと体験ネタを増やしてみたいです
家庭工学	加藤木 秀章	情報・工学を取り入れた家庭での生活が多くなっています。身近な製品にふれると今後の家庭についてみてくれると思います。
感性と生活情報システム	佐藤 健	実験も体験してみました。 感性は、記憶とのリファレンスです。 いろんなことに挑戦してください
基礎造形論	安齋 利典	授業を受けていただきありがとうございます。 レーダーチャート（大問Ⅱ）では、他の科目と比べてやや好評なので、内容・説明等は標準的なものであったかと考えております。 レーダーチャート（大問Ⅲ）ではQ14が平均より低いので、学生が自ら厳しい評価をしていることが伺えます。 ほぼ満足いただいているようであるが、スピードや資料、説明等改善の余地があると思っております。 また、Q1.12の「具体的に成長を実感したこと」に対しては、 ・ポートフォリオを作る力が身についたと思います。 ・スライドのデザイン力が少し上がった。 など嬉しい声を聞くことができました。
建築・インテリア構法	内藤 将俊	本講義は、木構造や鉄骨構造、鉄筋コンクリート構造に加えて、屋根や床、壁などの各種構法など、一般構造分野の基礎を総合的に扱う講義でした。広範囲に及び、かつ専門性を要する内容であったにも関わらず、最終試験の結果が良好であり、レポート課題も含めて多くの受講生が意欲的に取り組んでくださったと思います。
建築概論	槇 究	アンケートの点数については、平均的なものでした。 たぶん、課題の量が多い方だと思うので、その中で平均は、まあまあなのかなと解釈しています。 コメントとしては、建築に興味を持ったというようなポジティブなものが多かった一方、小テストの解答期間開始が遅いケースがあったといったネガティブなものも少数ありました。これは、忙しさにかまけて失念することがあったためです。ごめんなさい。 皆さんが、生活環境とか建築空間について考える、デザインすることを、今後さらに深めてくれることを期待しています。
建築法規	橋 弘志	全体にほぼ平均に近い評価となっている。法律の話なので、ふだん馴染みのない内容を、いかに身の回りに関連付けてイメージさせるかに腐心しているが、限られた時間の中で十分に説明しきれないこともある。事前に資料に目を通してから授業に臨む等の方法を考え、より理解が深まるように工夫していきたい。
工業デザイン概論	山崎 和彦	私は、毎回、講義の最初において「テストの候補となる箇所」について説明する。そこに集中して学修すれば、成績「+A」が続出する筈だが、70点以下となる者が多い。計画的に欠席を繰り返す学生もいる。単位さえ得ることができれば、それで結構というわけか。それはそれとして、出来る学生諸君は、今後、大いに伸びて行って欲しい。
住環境デザイン論	内藤 将俊	本講義では、大別して「ここで行われるアクティと空間との関係性」や「近現代の優れた建築作品の分析や解説」そして、「現代の多様な住環境における先進的な試み」についてお伝えするよう努めてまいりました。創造性を要するレポート課題を多く出題いたしました。多くの方々で現状の住環境の問題点などを探し出してそれを改善するための提案等を行って下さいました。是非とも、専門性が上がる来年度以降の演習科目で活用してみたい。
住居学	橋 弘志	どの項目も、平均ないし平均をやや上回る評価となった。1年前期の科目ということもあり、まずはこの分野に興味をもって楽しんでもらうことが目標である。プリントのデータや質問への回答のデータを配信してほしい、という意見が散見されたが、実際にmanabaですべて上げてあったので、周知が不足していたかもしれない。授業スピードについては、現在でも時間がやや不足気味で、当初の予定まで辿り着いていないので、単純にスピードを落とすのは難しい。
消費科学	大川 知子	3ヶ月半の授業、しかも、多くの方たちにとって、4年間最後の授業、お疲れ様でした。受講生の内、約8割強の方から回答をいただき、大変嬉しく思います。中でも、「成長が実感できた」「更に学んでみたい」、そして、授業の「総合的な満足度」という項目について、全員の方たちが「とてもよく当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答いただき、良かったです。また、コメントをいただいた多くの方々から、「視野が広がった」との意見をいただきました。これからも、社会で起こっている様々なことに、目を向けて下さい。
人間工学実験	佐藤 健	実験お疲れ様でした。データの処理が大変でした。締め切りを守るトレーニングができました。

【2023（前期）生活環境学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
生活環境学セミナー	内藤 将俊	スプリングスクールでの建築設計に始まり、コーリアンによるプロダクトデザイン、茶室アプローチの設計施工など、極めて創造性が高い課題に必死に取り組んで下さいましたね。すごい速度で実力が身につけていると思いますよ。引き続き、サマースクールや製図室改造計画、光の庭などで「情熱とこだわりを持って独創的なものを創造する」ことにみんなでチャレンジしていきましょう！
生活環境学セミナー	安齋 利典	<p>[前期] 授業を受けていただきありがとうございます。 大問Ⅱ、Ⅲとも他の科目の平均を概ね上回っており満足が行ったものと考えられる。 特に、 7. 説明はわかりやすかったですか？ 8. 双方向授業（質問のしやすさ等を含む）等の工夫がされていきましたか？ 9. 板書やパワーポイント、配布資料はわかりやすかったですか？ 10. 担当教員の声や言葉は、聞き取りやすかったですか？ 13. この科目（系・分野）をさらに学びたいと思いませんか？ かなり平均より高く、充実した授業となったものと思う。 Q1. 12の「具体的に成長を実感したこと」に対して、 ・実寸サイズで家具を作るのは初めてなので難しくもあるが、すごく楽しい。 ・ものをつくる際の過程を理解することができた等、狙い通りの成果があったものと思う。 Q1. 19. の「自由記述欄」に、 ・みんなと協力して計画的に進めることができてよかったです。 という好意的な意見があった反面、 ・manabaiに課題欄を設けるのが遅いように感じる。 との指摘もあり、今後注意いたします。</p>
生活環境学セミナー	加藤木 秀章	よく学んでいることがわかります。身近なプロダクトや建物、衣服などをみるとさらに学修に効果的だと思います。
生活環境学セミナー	佐藤 健	健康管理ファーストで、休まない人材、人財になってください
生活環境基礎 a	加藤木 秀章	既に身近なところでAIを取り入れた仕事が始まっています。数学を取り入れた言語、アプリなどにも使われているので、意識と興味をもつと今後の学修に寄与していきます。
生活気候学	山崎 和彦	「生活環境の科学」と「生活気候学」をオンデマンドで実施した。よって感想は両者に共通している。つまり、講義の動画の「つまみ食い」を趣味とする学生が多い。2度ほど繰り返し聴けば、相当に賢くなれたらうに。レポートを通じて人格が分かる。誠実に取り組んで欲しい。
生活空間設計製図 1	内藤 将俊	初めての本格的な建築設計作業であったと思います。多くの方々がスタディ模型や図面を用意し、積極的にエスキスに取り組んで下さいました。みなさんが最終提出物の作成に苦戦されたでしょうが、素晴らしい作品が非常に多く見受けられました。是非とも生活空間設計製図Ⅱ、Ⅲでも引き続き積極的に取り組んでください。
生理人類学	山崎 和彦	やはり対面はよいものである。我が講義に対し、不満を感じた方がおられたらうが、高齢の身となり、なるほど、このことだったかと感じ入ることがあるのではないと思う。ともあれ、私は講義を行うことが楽しかった。諸君に感謝しています。
染色加工学	塩原 みゆき	昨年の反省を踏まえ、染色理論という難しい内容を分かりやすく教える工夫をしたが、その工夫の成果がアンケートに反映されていた。さらに工夫をしていきたい。
繊維高分子材料実験	加藤木 秀章	身近に繊維にふれるとよく機能が必要だと思えます。夏場や冬場などが分かりやすいので、そのところをみてみるとより学修効果が高くなります。
伝統衣服実習	高橋 佐智子	皆さんアンケートへの回答ありがとうございました。全体的に良い評価を得ることができ、また、自由記述欄には好意的なコメントをいただき、今後の励みになります。時間のかかる作業工程もあり、大変だったかと思いますが、無事、全員作品が完成しました。お疲れさまでした。是非、身につけた技能と知識を今後の生活に活かしてください。
統計の基礎	加藤木 秀章	統計はなかなか難しいですが、できると以外にもすんなり処理でき、多様な見方ができるようになります。